

講義名	対)観光マーケティング論			
担当教員	山川 拓也			
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 5時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要

本科目では、観光サービスのマーケティング・マネジメントを取り上げる。具体的には、航空輸送業・旅行業・宿泊業等の観光産業に特有の観光マーケティング、政府観光局や観光まちづくりを担う組織などが主体となるディスプレイション（観光目的地）マーケティングの手法について、理論と事例をもとに学修する。

到達目標

観光産業及び観光目的地でのマーケティングに関する基本的な知識や理論を知り、内容を説明できるようになる。
観光産業及び観光目的地において、マーケティングがどのような役割を果たしているか、どのような理論が役に立っているか、事例を挙げて説明できるようになる。

提出課題

- ・毎回の授業終了後、期限内に提出を求める「ミニッツ・ペーパー」（responにて実施）
- ・毎回の授業終了後、期限内に提出を求める「理解度確認（小テスト）」（Ryuka portal内のmoodleにて実施）
- ・期末レポート（詳細については、授業の中で説明する）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

「理解度確認（小テスト）」に関しては、翌週の授業までにRyuka portal上に正答と解説を記したフィードバック画面を開示する。また「ミニッツ・ペーパー」の内容で解説等を加える必要があると判断したものは、合わせてフィードバック画面に記載する。

評価の基準

下記による総合評価とする。

毎回の「理解度確認（小テスト）」の累積得点率： 30%
 期末レポート： 30%
 期末試験（対面方式にて実施予定）： 40%

*毎回の出席確認は、responを用いて厳格に実施する。
 *「ミニッツ・ペーパー」の提出がない場合、教室内に居た者であっても当日の出席は無効とする。
 *の「理解度確認（小テスト）」の提出がない場合、得点は0（ゼロ）点となり、成績評価に影響を及ぼす。
 *累積の欠席回数が5回以上になった場合、評価を受ける資格がなくなる。（欠格/E）
 *遅刻（到着の遅延を指さない）は、2回まで1回の欠席としてカウントする。
 *スマホ等の電子機器類の無許可かつ私的な使用、私語や睡眠の継続、教員の指示や指導に従わない等は態度不良・授業妨害と判断し、評価に重大影響を及ぼす。
 *ミニッツ・ペーパーの記述内容が優れた場合、一定基準のもとで加点する。

履修にあたっての注意・助言他

- ・本科目は、観光学科の専門科目のなかでも重要度が高く、その後の応用展開の基礎となるものであることから、着実な学修が望まれる。
- ・本科目を履修する学生は、「観光事業論」「観光産業論」の履修を済ませていることが望ましい。

教科書				
.観光のマーケティング・マネジメント.	高橋一夫	ジェイティービー能力開発	¥2500+税	978-4-903576-11-4

プリント資料及び参考文献

プリント資料： 毎回の授業では講義レジュメを配布し、パワーポイントを使用して授業を実施する。
 参考文献： 講義中に適宜紹介する。

授業計画

1. ガイダンス（科目概要・授業方法・成績評価等の説明）
2. マーケティング・マネジメントとは
3. サービスによる価値創造のメカニズム
4. 観光市場（マーケット）と購買行動
5. 観光マーケティングの環境分析
6. 観光市場における競争の分析
7. 観光商品のマネジメント
8. 価格のマネジメント
9. 流通チャネルのマネジメント
10. プロモーションのマネジメント
11. インターネット・マーケティング
12. ディスプレイション（観光目的地）・マーケティング
13. 観光におけるデ・マーケティング（de-marketing）
14. 外国人旅行者向けのインバウンド・マーケティング
15. まとめと総括

<留意>
 ・新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学困難となった場合は対面授業の中での対応とする。（オンデマンド授業へ移動はしない）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

（予習：120分/回）
 ・教科書の該当課章部分を読んで要点を整理し、効率的な受講に備える。
 ・新聞や雑誌を含む書籍類、インターネット等のメディア情報にアクセスして、授業内容や観光マーケティングに関連する情報を収集しておく。
 （復習：120分/回）
 ・当日の授業内容を整理するとともに、教科書各章の最後にある「Self Check & Extension Study」に取り組み、学修の効果的定着に努める。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目の目標に到達することは、観光ビジネスを理解する上で必要となる基本的な知識と理論を習得し（目標）、それをもって応用的に考えることができるようになる（目標）ことであり、本学および本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に関連する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- ・毎回の授業後に実施する「理解度確認（小テスト）」や「ミニッツ・ペーパー」等の課題への取り組みにおいて、moodleやrespon等のICTを活用する。
- ・必要に応じて授業中でもresponを使用し、意見収集等を行うことがある。

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
 旅行業および旅行サービス手配業の実務経験（欧州を中心とする海外団体旅行の企画作成、営業、添乗、海外駐在、市場戦略策定）で得た知識・知見も活用し、本科目の目標に学生が到達できるように努める。

備考

- ・本科目は「座席指定制」にて実施する。進捗状況によって授業の進行方法や内容を変更する場合があります。その場合には事前に告知する。
- ・新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学困難となった場合は対面授業の中での対応とする。（オンデマンド授業へ移動はしない）